

大名みえ子です

2016. 3. 25 No.316
東海村村松 2401-2
電話・fax 029-284-0761

新しい中丸小学校が竣工 19日竣工式典に出席



児童から設計や工事関係者に手づくりの御礼がありました。感動したのは子どもたちと、ガードマンさんとのふれあいでした。



↑新校舎
←中丸小のマスコットキャラクター
"なかめる"くん

待ちに待った中丸小の新校舎が完成し、竣工式が行われ出席しました。

校舎の外側壁の色合いも、教室や廊下、全体的に落ち着いた色調で、学び舎としてはとても良い感じがしました。また廊下などにベンチ式に座れるスペースが結構あります。これまでなかった教材・道具?の作り付け収納スペースもあります。教育をスムーズに進めやすい環境かなと思いました。

児童用の玄関は広く設けられ、災害時などに安心です。図書室は、「花と本と絵のある学校」にふさわしく本当に良くできています。本大好き児童を沢山育てていただきたいと思いました。

トイレスペースは、とてもセンスのいいかわいらしさあふれたタイルなどが施され、トイレでわくわくしそうです。



左上:校長先生の式辞
右上:長い工事期間中、子どもたちをやさしく見守ってくださったガードマンさんにお礼
下:オープニングで演奏するリコーダークラブ

中丸小を巣立ちます。 続いて22日、卒業式に出席



←教育長代行の来賓あいさつ
↓「巣立ちの言葉」での卒業生一同



家族やお友達を大切に、考え行動することを大切にしてください

東海第二原発の安全審査（適合性審査）を早急に行うことを求める意見書（案）が賛成多数で可決（東海村議会 24日、大名は反対。反対5、退席2、賛成12）

「東海第二原発が運転停止のままでは、村内商工業者に仕事が下りず収入減が大きい。運転を止めるのか再稼働なのかの村内議論を開始するために、安全審査の結論を速く出してほしい」というのが意見書提出の大枠での理由です。村内商工業者は震災前収入の何割を東海第二原発の稼働の関係で得ていたのでしょうか。同じ内容での請願が、村商工会から出され、議会原特委が調査をしていました。本当は、実際の経済状況（原発稼働で収入の何割を占めていたか、稼働以外の収入の見通しは全くないのかなど）ほか、訴えるなかみについてもっと調査したかったのですが、「新政とうかい」から出ている議員が「調査の必要なし」と決め付け、強引に採決、委員長採決で採択となりましたが、3月議会報告には間に合わない為、報告なしで意見書をあげる方法を選択したものの。